

キャリア開発演習ⅡAの授業において、見学者としての立場での感想を述べたいと思います。

冒頭で生沼先生、中島総長先生から授業見学を行う意義についてのご説明をいただき、公務員を目指す学生のために、よりよい授業が提供できるよう指導を行っている旨、学生に伝えてらっしゃいました。その中で、満点が取れるよう複数の講師で万全の指導が行えるよう体制を整えているので、公務員試験の合格を目指してがんばるようお声がけがありました。

今回は、日本史ということで、人物名や地名など読み方すら難解な部分がおおいため、学生も苦勞して授業を受けている姿が印象的でした。講義を担当された狩野先生も説明に苦勞されていらっしゃいましたが、講義を先に進めようとしているところで、中島総長先生からよく分からないため再度説明するように、というご指示をいただく場面がありました。すると、まだきちんと理解できていない学生も数名おり、このことから、中島総長先生が学生の感覚を常に感じて講義に臨んでいらっしゃることが推察できました。やはり、講師が一方向的に説明するだけでは講師の自己満足で終わってしまうケースも多く、常に学生が理解しているかどうかを確認しながら講義を進めていかなければ、本学の指導方針から乖離してしまう点を再確認させていただきました。

最後に中島総長先生から、学生に対してがんばってください、と一言いただきました。

中島総長先生からいただいた数々の指導内容を再度確認し、学生のいる現場で実践できるよう研鑽していきたいと存じます。

引き続き適切にご指導いただきながら2021年度の公務員試験の合格者を多数輩出できるよう学生と同じ目標を持って今後の指導に尽力していきたいと思います。